

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和5年3月

事業所名 こどもの森うらここ（放課後等デイサービス事業）

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 設備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		○		指定基準に合わせているが運動には広さが不十分のため活動により屋内外、相談室や静養室も活用し、活動場所を分散させている。	今後も自然あそびや社会見学など外出の機会と体をのびのび動かす活動を積極的に取り入れ個々のスペースを確保する。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			保育士を1名以上加配している。	人員配置基準は満たされているが町内の感染症状況等による職員の欠勤や児童の利用変更など緊急時に備えた人人体制を検討したい。
	③	事業所の設備等についてバリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			段差を減らすためのクッションフロアー玄関スロープ、手すりや洗面台の高さを変更足台を用意している。	音や声の反響を減らすため今年度中に天井の吸音工事を依頼し安心できる空間に改善する
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画している	○			常に話し合うようにしている。 定期的に職員会議をして情報共有などしている。	日頃より職員間で意見を出しやすい雰囲気づくりに努めより良い支援を心掛ける。 振り返りを更に充実させていく。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し業務改善につなげているか	○			年1回アンケートを実施しその後職員間で共有し改善点を話し合っている。 日頃より話しやすい雰囲気づくりに努めている。	今後も児童、保護者からご意見を聞かせて頂き職員会議で話しあい1つ1つ改善していく。
	⑥	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページで公開しているか	○			毎年1月に頂き集計したご意見や、事業所内の意見は年度末にホームページにて公表している。	今後も年1回ご意見を頂き改善に向けて話し合うと共にホームページにて公表する。
	⑦	第三者による外部評価を行い評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者評価の受審はしていない。 他の児童発達支援事業所経営者にアドバイザーになって頂きより良い支援や業務改善に繋げている。	今後も客観的なご意見を聞かせて頂き改善につなげる。
	⑧	職員の資質向上を行うために研修の機会を確保しているか	○			Zoom研修、委託専門支援員による現場で直説個々の発達や特性に合わせた療育のあり方を学ぶ研修など研修の機会を多く確保す	色々な研修会参加の機会を設け、全職員の専門性を高め質の向上を図り、実践に繋げていく。

					るよう努めている。	
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		保護者との面談・相談、学校等の見学など情報共有しアセスメントしている。児童の様子保護者等の意向を受け職員会議し個々の目標目標に合わせた支援計画をたてている。	今後も日々の成長や変化を保護者、関係機関と伝えあいながら現状に合わせた計画を作成する。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		支援記録ソフトを使用してアセスメントシートを作成している。	アセスメントシート活用して職員一人ひとりが読み込み、児童の様子と合わせて保護者とも情報を共有、更に理解を深める。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		週ごとの立案担当者を決め相談しながら行っている。気になる事は常に話し合いをしている。	担当任せにならないよう意見を積極的に出し合いながら楽しい活動にしていく。職員個々のスキルアップ、知識を深める事でチームとして機能を高める。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		固定化しないよう週の立案担当者を決め話し合って活動。季節にあったものや静と動のあそびを組み合わせている	全職員でアイデアを出し合い、もっと色々な活動の幅をひろげていく。児童の意見も積極的に取り入れたい。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて課題を決め細やかに設定して支援しているか	○		季節や生活状況、個々の家庭環境も踏まえて課題を設定し支援している。	利用児童に合わせたきめ細やかな内容になるよう話し合いを重ねていく。
	⑭	子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		個別・集団活動の中でも選択できるように用意している。集団の中で個別にサポートしながら活動する集団内個別活動も行っている。	今後も児童の希望や各家庭のニーズを伺い個別活動・集団活動を選択したり組み合わせていく。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをしその日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		話しやすく相談しやすい雰囲気や打ちあわせもしている。1日の流れをホワイトボードに書き出して確認している	更に細かい職員の動きや日々の目標の確認など密に行い効果的な支援を目指したい。
	⑯	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをしその日行われた支援の振り返りを行い気づいた点等を共有している	○		話しやすい雰囲気づくりに心掛け、終了時の振り返りだけでなく日々気になる事を職員同士で声を掛け合い話し合いしている。	シフトにより全職員同時には共有出来ない日もあるが定期的に決まった時間を設け振り返りの結果を次の日の支援にもっと繋げたい。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し支援の検証、改善につなげているか	○		業務日誌、個別支援記録など毎日必ず記録をとり、課題や改善点を常に話し合っている。	次の支援に繋がるよう、今後も見返しやすい記録内容に努める。

関係機関や保護者	⑱	定期的にモニタリングを行い放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		半年ごとにモニタリングを実施し本人の状況に合わせた計画の見直しを行っている。	保護者との話し合いを今後も大切にし、必要に応じて学校や医療機関との連携も含めて計画に反映させていく。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○		学校や関係機関との連携を図り個々の状況や家庭環境に合わせた支援を心掛けている。指導的役割だけでなく自己肯定感の向上や余暇活動の充実を図る支援を行っている。	今後も一人一人に合わせて必要な支援を継続できるように職員間の話し合いを大切にする。
	⑳	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		その時の様子や今後の姿について全職員で話し合い情報共有してから参加。児童発達支援管理責任者又は支援担当職員が対応するようにしている。	今後も関係機関との連携を図り、保護者のニーズ、児童の様子を共有しきめ細やかな支援を行っている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		通信や電話などで情報共有している。送迎時に学校での様子を伺う事もある。話しやすい、連絡を取りやすい関係を維持できるよう、積極的に連絡確認や行事見学もさせて頂いている。	今後も学校との情報共有をこまめに行い、通所時の児童の様子を伝えたり学校からの事業所の見学なども招待する。学校行事の見学や参加も可能な限り続ける。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合はこどもの主治医などと連携体制を整えているか	○		現時点で該当する児童はいないが、医療機関の受診引率や、受診時の内容書類の確認など個々に合わせたサポートをしている。	該当する児童の受け入れ時には保護者と相談のもと適切に連携を図る。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		幼保から就学への引き継ぎの援助、入学前の母子の学校見学引率、小学校教員の幼保見学に同行させて頂くなど必要に応じて移行支援を行っている。	今後も継続的に連携を図っていく。
	㉔	学校を卒業し放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				今の所該当する事例がない。
㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し助言や研修を受けているか	○			他の事業所との委託契約により作業療法士、言語聴覚士、心理士などの専門支援員が毎月訪問。助言・研修を受け	今後も継続し職員の専門性を高め質の向上に努める。

と の 連 携					ている。	
	②6	放課後児童クラブや児童館との交流や障がいのない子どもと活動する機会があるか		○	社会見学や公園で活動、地域の障がい者施設や医療施設と連携しイベントを開催。利用児童の通う学校で安心して集団生活を送る事が出来るよう授業参観やケース会議に参加するなど連携を図っている。	法人の学童クラブとの交流も検討する。
	②7	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○	町内、管内の子育て・教育等に関する協議会に積極的に参加している。	各協議会参加により地域社会、教育・福祉・医療機関との連携を深める。
	②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい子どもの発達の状況や課題について共通理解をもっている		○	定期的な所内相談の他、送迎時の報告や電話連絡などこまめに様子を伝えあうようにしている。	普段から話しやすい雰囲気づくりに心掛けながら定期的な面談も継続する。
	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか		○	定期的な所内相談の他、希望により委託専門支援員に直接相談する機会を設けている。また、町内の研修会の告知や取りまとめを行い参加を促している。	定期的に開催している保護者会の中で専門支援員により研修会も計画したい。 職員の専門性を高めるための研修も受講する
	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		○	契約時説明の他、所内相談・面談でお話している。また、ご質問はいつでも丁寧にお応え出来るよう心掛けている	今後も気になる事をお話して頂ける雰囲気づくりに努める。
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○	定期的な所内相談の他、送迎時や電話で相談を頂いている。希望や必要に応じ外部専門支援員への相談に繋げたり学校のケース会議などに参加している	保護者から安心して相談して頂ける雰囲気づくりに努める。 職員個々の知識と経験を積み質の向上に努める。
	③2	父母の会の活動を支援したり保護者会等を開催する等により保護者同士の連携を支援しているか		○	月1回保護者会を開催し、保護者同士のつながりも出来ている。	父親同士のつながりも実現したい。
	③3	子どもや保護者からの苦情について対応の体制を整備すると共に子どもや保護者に周知し苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○	所内の苦情相談窓口の他、町内に第三者委員を設置し利用契約時に説明。担当窓口に限らず保護者が相談しやすい人に伝えてもらうようお願いしている。その日のうちに職員	保護者、児童からご意見を頂き、より良い事業運営に役立てたい。話しやすい雰囲気づくりを心掛けながら今後も迅速に対応していく

				間で話し合い対応している。	
③4	定期的に会報などを発行し活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月通信を発行、ホームページでも情報を発信している。	今後も見た目の分かりやすさなど職員間で内容を確認、相談しながら作成する。
③5	個人情報に十分注意しているか	○		利用者情報は口外せず、書類を持ち出すことなく慎重に取り扱っている。	今後も慎重に取り扱う。
③6	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のため配慮しているか	○		施設内の設備や行動の絵カードを用意するなど可視化に努めている。個々の意思の伝え方を保護者、職員間で確認しあっている	必要に応じて専門支援員に相談し職員間で確認しながら、更に積極的に児童、保護者一人ひとりと関わり分かり合っていく。
③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		事業所として自治会に加盟。交通安全街頭啓発や近隣の避難訓練に参加、近隣施設の庭訪問。地域医療福祉施設等と合同でイベントを開催。見学者は通年受け入れている。	コロナ禍でも出来る事を模索している。今後も地域と共に出来る事に参加したい。見学や実習を引き続き受け入れていく。
③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し職員や保護者に周知しているか	○		各種マニュアルを作成し、職員採用時の他、年1回の所内研修を実施。保護者には緊急時連絡先の確認、避難訓練の実施等を個別に報告している。	各種マニュアルを職員個々でも普段から読みこみ緊急時に行動に移す事が出来る様にする。地域、事業所内の状況の変化に合わせ、その時の実際に即した物にしていく。
③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		火災、地震災害訓練をそれぞれ年1回実施。地域の避難訓練にも参加。非常災害対策マニュアルを作成し年1回所内研修を実施。	土地柄（地震が多い等）や時間帯など様々な状況を想定しながら計画をたてる。訓練の反省を生かし今後の計画に繋げる。
④0	虐待を防止するため職員の研修機会を確保する等適切な対応をしているか	○		虐待防止マニュアルを作成し採用時又は年1回所内研修を実施。外部研修会参加の機会も設けている。	療育内容、接し方など細かな話し合いをもち今後も虐待防止に努める。
④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		重要事項説明書に記載し、契約時に説明している。 基本的に身体拘束はしない。	職員の対応により二次障害、行動障害にむかう事がないよう療育の在り方を職員間で常に話し合うと共に、研修会参加の機会を設ける
	食物アレルギーのある子どもにつ			診断結果のコピーを頂き、保護者から	定期的に保護者に伺い、今の症状や食事、治

④②	いて医師の指示書に基づく対応が されているか	○		聞き取りをしている。おやつや昼食前 に再確認し配慮している。	療方針の変更などを確認していく。
④③	ヒヤリハット事例集を作成して 事業所内で共有しているか	○		事例について職員会議を開き検討した 内容も含めファイリングしている。	事例を元に話し合い事故防止に努める。

